

令和6年度日本生化学会九州支部例会
ポスター賞 金賞受賞者の声

山田 剛暉(佐賀大学 農学部)

この度は名誉ある賞を授与いただき、誠にありがとうございます。このような素晴らしい機会を与えてくださいました学会関係者の皆様、審査に関わられた皆様、そして私の発表に耳を傾けてくださった皆様に、厚くお礼申し上げます。

私は「転写因子 Nrf1 の核移行制御機構の解析」と題して発表させていただきました。私は Nrf1 と同様に小胞体膜に局在するセレノプロテイン S、セレノプロテイン K に着目し、解析を進めました。本研究によって、これらセレノプロテインは核内に蓄積した Nrf1 の分解に関与することが示唆され、Nrf1 の新たな機能制御機構があることを見出しました。発表の際には、多くの方々からご意見をいただき、新たな視点を学ぶことができました。今回の経験を活かし、今後の研究活動にさらに励みたいと思います。

最後に、本研究を進めるにあたり、熱心にご指導いただいた辻田忠志先生をはじめ、切磋琢磨し合った生化学研究室の皆様にご心より感謝申し上げます。

安木千央(鹿児島大学大学院 理工学研究科 理学専攻 化学プログラム)

この度は、優秀ポスター賞という栄えある賞を賜り、大変光栄に存じます。選考いただいた審査委員の先生方へ感謝申し上げます。

本研究の発表に際し、親身にご指導いただいた河原康一先生を始め、指導教員の有馬一成先生、分子腫瘍学分野の皆様へ厚く御礼申し上げます。

発表内容に関して私自身が貢献できたのはほんの僅かであり、受賞にいたったのは引き継がせていただいた諸先輩方の研究成果の賜物であると確信しております。

ポスター発表に際し、多くの先生方からの多角的なご意見をいただき、今後の検討課題として、新しく見出すべき箇所を見直す貴重な機会を得ることができました。

また、二日間にわたってさまざまな分野の先進的な研究を拝見し、日本の生化学研究の発展を肌で感じる事ができ、同年代の方々の発表にとっても良い刺激をいただきました。

この経験を糧に、期待に恥じない成果が出せるよう精進して参ります。この度は誠にありがとうございました。

